

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成28年10月3日

①学校名:	青山学院大学 大学院	②所在地:	東京都渋谷区渋谷4-4-25			
③課程名:	総合文化政策学研究科文化創造 マネジメント専攻	④正規課程/履修 証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	2009/4/1	
⑥責任者:	総合文化政策学研究科長 堀内正博	⑦定員:	15名 (2015年度修了者数11名)	⑧期間:	2年間 (3年間の コースもあ る)	
⑨申請する課程 の目的・概要:	メディア文化、都市・国際文化、アートマネジメントなどの実践的知識を有し、メディア、文化団体、文化産業、国際機関、企業の広報、企画、マーケティングなど、多彩な分野で高度な専門性を活かすことのできる人材育成を目指す。					
⑩4テーマへの 該当の有無	なし	⑪履修資格:	大学を卒業した者、及びそれと同等以上の学力があると認められる者。出願時において企業等組織に在籍しているあるいは3年以上の企業等組織での実務経験のある者が望ましい。			
⑫対象とする職 業の種類:	戦略・マーケティングスタッフ、プロデューサー、文化芸術団体の管理職					
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・それぞれの専門分野(政策マネジメント、都市・国 際、メディア・アート)の専門性と実践的知識		(得られる能力) ・創造的思考能力及びマネジメント能力			
⑭教育課程:	「芸術哲学」や「経済文明史」など13科目からなる基礎科目群によって、文化とマネジメントを統合するに必要な思考方法と理論的枠組みを構築する能力を醸成する。「文化政策論」や「マネジメント論」など27科目からなる政策マネジメント分野科目は、政策マネジメントに関する専門知識と実践能力を身につけさせ、「空間デザイン論」や「国際文化交流論」など17科目からなる都市・国際分野科目は、グローバルな視点から街づくりや文化についての政策立案できる能力を修得させ、「映像メディア論」や「舞台芸術論」など22科目からなるメディア・アート分野科目は、文化芸術分野での後半な専門知識と実践能力を修得させる。また、修士学位申請論文または特定課題についての研究成果を作成するための「プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、文化に係る様々な問題の発見と解決、文化や芸術の創造のための構想、政策やプロジェクトの立案といった高度な実践的能力を養成する。総合文化政策学部に附置する教育研究プロジェクト機関「青山コミュニティラボ」を活用して学部学生を組織化する参加型のプロジェクト演習の実践も可能であり、プロジェクトの運営を通して高度なリーダーシップ能力を修得させる。専門社会調査士、文化交流創世コーディネーターの資格修得に必要な科目群も配置している。					
⑮修了要件(修 了授業時数等):	修了要件 所定の30単位を修得し、修士学位申請論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格すること。					
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	修士(文化創造マネジメント)。所定の科目を履修することによって専門社会調査士、文化交流創成コーディネーターの資格を取得することが可能である。					
⑰総授業時数:	132 単位	⑱要件該当授 業時数:	94単位	該当 要件	双方向 実務家 実地	⑲要件該当授業時数 /総授業時数: 71%

⑩成績評価の方法:	筆記試験もしくはレポート評価と授業への貢献によって総合的に評価する
⑪自己点検・評価の方法:	研究科内の自己点検・評価委員会で実施する。
⑫修了者の状況に係る効果検証の方法:	卒業生組織を通して、定期的に修了者の就業等の状況を把握し、検証している。
⑬企業等の意見を取り入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成) 文化創造マネジメント専攻評議委員会(構成員のうち7名以上を外部の企業等から選出する)において、カリキュラムの構成や科目の内容の有効性、適切性についての意見交換を行い、研究科長に意見を述べる。</p> <p>(自己点検・評価) 文化創造マネジメント専攻評議委員会で出された意見を研究科長に報告し、研究科長より研究科自己点検・評価委員会にその内容をさらに報告する。研究科自己点検・評価委員会は、それを踏まえて自己点検・評価を行う。なお、評議委員会には企業等からの委員が含まれ、その旨を本研究科文化創造マネジメント専攻評議委員会設置要綱として定める予定である。</p>
⑭社会人が受講しやすい工夫:	<p>① 平日夜間と土曜日に履修することによって修了要件を満たすことができる。長期休暇中に集中講義を設けている。</p> <p>② 長期履修を希望する学生のために、3年コースを用意している。</p> <p>③ 修士学位申請論文だけでなく、職場での実際の課題を解決するための特定課題についての研究成果の作成を認めている。</p>
⑮ホームページ:	(URL) http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_sccs/

事務担当者名:	鴨志田 佳代	所属部署:	政策・企画部
連絡先:	(電話番号) 03-3409-9612 (E-mail) p-office@aoyamagakuin.jp		

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。